

2009年  
9月10日 木

発行所：北海道新聞社  
札幌市中央区大通西3丁目6  
〒060-8711 電話：011-221-2111

## 硝化効率高い 新種の菌発見

【新ひだか】下水道処理

施設の維持管理などを行う  
静内衛生社(行方将泰社長)  
は、自社が開発した浄化槽  
の機能促進剤「イグアスー  
EX」に新種の菌が含まれ、  
汚水浄化に役立っているこ  
とを解明した。この菌を活  
用したアンモニアの浄化方  
法の特許を取得した。

同社によると、新種の菌  
は、汚水中のアンモニアを  
毒性の弱い硝酸に変える硝  
化作用に関与する。増殖速  
度が速く、従来の硝化菌よ  
り硝化を早める効果がある  
という。

イグアスは、脱水汚泥と  
家畜ふん尿に木材チップを  
混合して発酵、乾燥させ、  
固形化したもの。2005

### 静内衛生社 汚水浄化に威力



静内衛生社が開発した「イグアスーEX」

年に商品化。家畜のふん尿  
を活用した促進剤は全国初  
だった。単一菌による従来  
の促進剤に比べて複数種の  
菌を含むことで、汚水を溶  
解したときの悪臭や泡を抑  
えられるのが特長。

商品化段階では、具体的  
な菌の動きは不明だった  
が、同社と産業技術総合研  
究所北海道センター(札幌)  
している。(成田智加)

が3年がかりで解明を進  
め、乾燥状態でも働く新種  
の菌の存在を突き止めた。  
また、イグアスの製造段  
階で生じる残滓を堆肥にし  
て牧草地にまいたところ  
は、馬の食いつきが良いと  
いう結果も出た。これにも  
新種の菌がかかわっている  
可能性があるとみて、同社  
は検証を進めるといふ。

同社の武部史彦主任研究  
員は「大量に発生する汚泥  
や家畜ふん尿を活用したイ  
グアスのブランド力を高  
め、強い競走馬育成に役立  
てるなど地域に還元できる  
よう研究を進めたい」と話  
している。